

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 45 号

発行日：平成三十三年一月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002

＝ 今年の反省を踏まえて具体化 ＝ 来年度の事業計画づくり進む

6部会から今月中には新企画案提示

西成連区地域づくり協議会では、創設いらい敬老者に視線を合わせた、新しい形式の敬老会を始め、西成連区で一斉に実施したごみゼロ運動や、広報活動の拡充・強化（HPの充実）などの事業に加え、今年度は新たなキーワードを「縁」と定め、「ご近所の絆—見守りネットワーク」事業を展開し、誰にも頼ることの出来ない無縁社会化の進展に一石を投じ、警告するなど、各方面からも絶賛を頂きました。

しかし、一宮市内23連区で初めての「西成連区地域づくり協議会」が、1年の準備期間と誕生して4年目を迎えています。5年目となる新年度は、組織や役員構成など全てを見直し、より一層の飛躍・発展・拡充を目指しています。

すでに、住民の結びつきを強固なものにするための事業一環のとして、認知症についての理解とサポート体制づくりなどについても検討が進んでいます。

今月中には、6部会から新規事業の企画案を提示していただくことにしています。引き続き期待ください。

ご近所の絆—見守りネットワーク

独居老人・老々世帯はお申し出ください

「絆」をキーワードに、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、西成連区55町内で実態を調査した結果、独居老人が670世帯、老々世帯が790世帯で、対象世帯率は13.2%でした。一方、一宮市が直接郵送で実施した災害時要援護支援登録者は282世帯でした。

予測できない緊急時の支援協力者は、向こう三軒両隣の「気配り・目配り・声掛け」です。まだ、未登録の場合は、自分自身の安心・安全を守るために、ぜひ手続きをしておいてください。

歳末たすけあい運動

12月1日～25日

歳末たすけあい運動の歴史は昭和27年ころにさかのぼります。はじめは、生活保護を必要とする世帯や施設入所者への見舞金として配分するための募金でした。

その後、住み慣れた地域で暮らしていくために必要な、さまざまなささえあい活動が展開されるようになり、だんだんそれらの活動への募金配分が行われるようになってきました。

年 末

交通安全週間

12月1日～10日

西成連区街頭監視

12月5日

HPをご覧ください。「にしなり」（ひらがな）で検索！

<http://www.138nr.com/>